

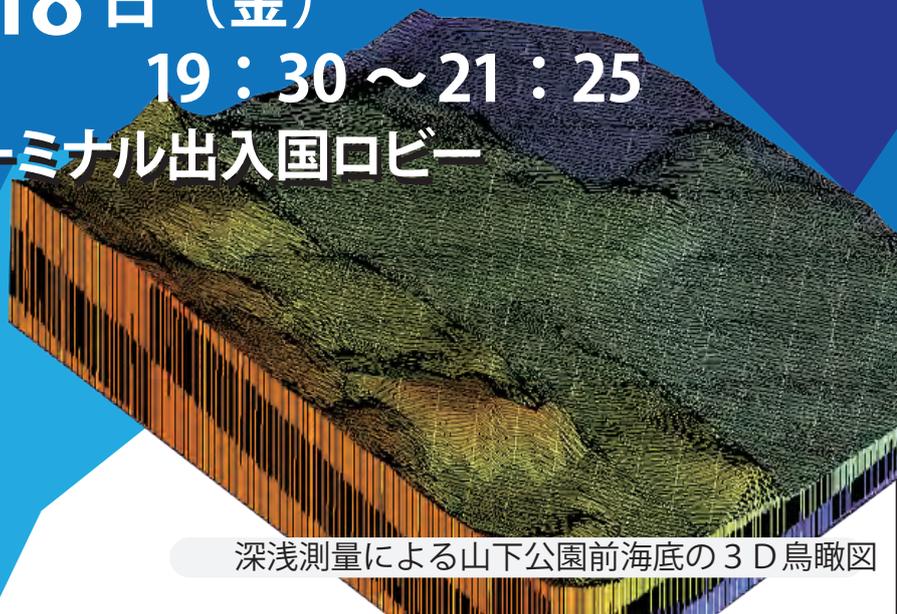
横浜の海と海中デザイン

平成 28 年 3 月 18 日 (金)

19:30 ~ 21:25

大さん橋国際客船ターミナル出入国ロビー

(横浜市中区海岸通1丁目)



深浅測量による山下公園前海底の3D鳥瞰図

近年、横浜港の水質は公共下水道の整備や排水規制の強化により大幅に改善しましたが、依然として赤潮や貧酸素水塊の発生など改善すべき課題があります。特に横浜のような都市海岸線では砂浜や干潟が埋立てや鉛直護岸により失われたことで生き物の種類や数が減少し、本来海が有する浄化能力も低下したままです。本取組では生き物が生息できる環境を創出し、生物による浄化能力とCO₂固定化能力を回復させるほか、人々に親しまれる豊かな海づくりを行い、かつこれら取組を継続させることで地球環境の向上への貢献を目指す、産官学民の協働による「海中デザイン」を提案します。

<プログラム>

司会：八千代エンジニアリング株式会社 鈴木克彦 (共同研究者)

成果報告：研究概要、生物相調査・海中映像・深浅測量調査

八千代エンジニアリング株式会社 石井重久 (共同研究者)

パネラー報告：

① 海中生物の話

横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授 菊池知彦
(統合的海洋教育・研究センター)

② 山下公園海域の海中調査

株式会社ウインディーネットワーク 部長 松崎康治

③ ヨコハマ海洋市民大学の取組

相鉄企業株式会社横浜パブリックサービスセンター所長 金木伸浩

④ 横浜の海の移り変わり

元町自治運営会最高顧問 杉島和二郎

⑤ 横浜の海づくり

横浜市立大学共同研究員 石井彰

⑥ 海洋生物と医薬品

横浜市立大学国際総合科学群自然科学系列 教授 大関泰裕

パネルディスカッション・質疑応答

入場無料・事前申込不要 ※オープンスペースでのイベントです。

会場へのアクセス：みなとみらい線「日本大通り駅」下車徒歩

約7分、横浜市営地下鉄/JR「関内駅」下車徒歩約15分

お問い合わせ：横浜市立大学研究推進課地域貢献担当

TEL/FAX 045-787-2205 E-mail coc@yokohama-cu.ac.jp

主催：横浜市立大学 (大関泰裕 研究室)

共催：八千代エンジニアリング株式会社

この報告会は、「ヨコハマ海洋市民大学」の協力で開催されています。

冬の横浜港内に生えるワカメ